



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2017年
7月号
(第12号)

今月の聖句

あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを、牧しなさい。強制されるのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。(ペテロの手紙第一 5章2節)

2017～2018年度 主題

クラブ会長 石田孝次「ボランティア活動の『土台作り』と『実践』」

東新部部長 伊藤幾夫(東京多摩みなみ) 「E人(イーヒト)になろう」

東日本区理事 栗本治郎(熱海) 「広げよう ワイズの仲間」

アジア太平洋地域会長 Tung Ming Hsiao(台湾)「ワイズ運動を尊重しよう」

国際会長 Henry Grindheim(ノルウェー)「国境なき友情」

《クラブ役員》会長 石田孝次 副会長 真藤広子／綿引康司

書記 田中博之 副書記 小早川浩彦 会計 深尾香子 担当主事 小野実

今月の強調テーマ:キックオフ、YMCA サービス、ASF、RBM

7月例会プログラム

日時: 7月4日(火) 18:30～20:30

会場: ベルブ永山 3階講座室

司会: 小早川浩彦、受付: 綿引康司

- *開会点鐘 石田孝次会長
- *ワイズソング 一同
- *今月の聖句・祈祷 小野実
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *東新部部長公式訪問挨拶
- *クラブ役員就任式
- *夕食
- *メンバースピーチ: 深尾香子
「賢活してますか?～家族の笑顔のために～」
- *ワンポイントワイズ: 田中博之
「YMCAについて」
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *YMCA ニュース・連絡等
- *スマイル献金
- *YMCA の歌 一同
- *閉会点鐘 会長

7月の Happy Birthday/Happy Anniversary

<誕生日>無し <結婚記念日>無し

E人(イーヒト)になろう!

東新部部長 伊藤幾夫



今期の部長主題として「E人(イーヒト)になろう!」を掲げました。「E人(イーヒト)」とは、「EMC を重点課題と感じている人」と定義したいと思います。

EMC とは Extension(エクステンション:新しいクラブの設立)、Membership&Conservation (会員増強と会員意識の向上)を意味しますが、ワイズの高齢化、メンバー減少という現状、これからのワイズを見据えたとき、エクステンションと会員増強は喫緊の課題であると考えます。そのために東新部は、今期特に EMC にエネルギーを注いでいきます。

私たちは、ワイズメンであることに誇りと喜びを持っています。そのワイズメンの基盤となるのは各クラブです。私たちの奉仕活動を通してワイズの良さをもっと広めていきましょう。そして、仲間を増やしていきましょう。そのことが、地域奉仕活動の充実、ユースを積極的に巻き込む機会、YMCA 支援につながっていくと考えます。

また、「E人(イーヒト)」には、文字通り「いい人」の意味も含まれています。4つのI(アイ)(Idealism(理想を持つ)、Interest(興味を持つ)、Initiative(率先する)、Industry(労をいとわない))は、私たちの原点であり、4つのIを備えた人はまさに「いい人」の典型です。そんな人を目指していきましょう。どうぞこの1年よろしくお願いたします。

6月例会	在籍14名 例会出席15名	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			9名	1名	切手	現金(含書損等)	オークション	スマイル
			9名	1名	0g (累計 731g)	0円 (累計 円)	0円	0円
			出席率 71%	メネット 1名	現金(含書損等) 0円 (累計 円)		(今年度累計 48,793円)	
			ゲスト・ビジター5名				7,468円	
							(今年度累計 79,268円)	

今年度のクラブ会長主題について

会長 石田孝次



「ボランティア活動の『土台作り』と『実践』」

その心は、この一年間、我々は、船出の初年度ということで、何も分らぬままスタートしました。ワイズメンズクラブについても、メンバー相互についても、また、YMCA との関わり、ボランティア活動のあり方など、

ワイズ活動のいろはがわからぬままのスタートでした。それ故に、初年度のテーマは、「友情と地固め」としました。そのため自クラブのクラブ運営のいろはを広く学ぶため内外の様々な機会に積極的に参加し、身をもって体験することに努めてまいりました。未だ、地に足のついた活動ができるレベルではありませんが、地域に密着した独自のボランティア活動として何ができるかについて模索し、検討を重ねてまいりました。また、先を急ぎ身の丈を超えるものではなく、無理なく持続できるものは何かに重点を置いてまいりました。

2 年目に入る今年度は、その第一歩としてワイズ農園を試行的に手掛けることで我々の思いを実現する手始めの手段とすべく、農園を借り、土壌づくりから種まき、栽培、収穫、そして取れた野菜を地域の幼稚園等に提供し、食べていただく一連の「食育活動」として結実させることができなにか。それを足掛かりに将来的には、次のステップとなる園児との協働作業の実現、地域のボランティアセンターや東京 YMCA を巻き込んだ複数の事業体との連携強化といった形でボランティア活動の「輪」と「幅」を広げて行くことにつなげられないか。目指す方向に向かって実践を積み重ね、活動モデルを形作るための土台作りの一年としたいという思いからこれを今年度、即ち、2年度目の主題といたしました。

第 20 回東日本区大会川越に 430 名集う

東京多摩みなみ多数受賞！

6/3(土)4(土)の 2 日間、ウエスタ川越にて、第 20 回東日本区大会が約 430 名の参加者のもと、盛大に開催されました。当クラブからは伊藤、小早川、真藤、滝口、田中夫妻、綿引の 7 名が出席しました。

今大会のスローガンは「これまでの 20 年“温故知人”」です。今大会は、川越市、川越商工会議所など地元の強力なバックアップで開催され、“明日に向かうワイズ”を感じさせる 20 回記念にふさわしい大会でした。

大会冒頭でのバナーセレモニーには、綿引副会長が我がクラブとして記念すべき初参加をし、堂々とアピールしました。



バナーセレモニー

利根川理事の開会宣言・点鐘、松川実行委員長の歓迎挨拶、来賓の川合川越市長、神崎日本 YMCA 同盟総主事、タン・ミン・シャオアジア太平洋地域会長、岩本西日本区理事の祝辞がありました。続いて行われたメモリアルアワーでは、1 年間に召天された方々を偲びました。今回は、東日本区設立 20 年の節目であり、特別プログラムとして、歴代の東日本区理事が紹介され、田中さんも第 18 代理事として壇上に上がりました。

その後の日本区アワー I では、理事、部長、東日本大震災・熊本地震復興支援活動等の報告がなされました。



細川東新部部長報告

16 時から記念講演として「ローカル線を救う おもてなし」と題して、いずみ鉄道株式会社社長の鳥塚亮さんからお話をいただき、勇気と元気をいただきました。

キャンプソングのひとときの後、18 時半からは一堂に会しての晩餐会。楽しい交歓の時を持ちました。



晩餐会会場にて

翌朝は聖日礼拝でスタート。東日本大震災と熊本地震復興支援への献金に 125,000 円が寄せられました。

東日本区アワー II では、表彰式、役員引継式が行われました。わがクラブは「CS 献金達成賞」「年賀切手収集協力賞」「ASF 献金達成賞」「FF 献金達成賞」「BF 献金達成賞」「BF 使用済み切手収集協力賞」「ロールバック・マラリア献金達成賞」「国際・交流事業グランドスラム賞」そして東日本区トップの成績の「TOF 部門 MVP 賞」「YES 部門 MVP 賞」の合計 10 の賞を受賞し、また、個人賞として田中さんが理事特別賞を受賞されました。



TOF、YES 部門 MVP 賞授賞式

当クラブは 1 年目にして、素晴らしい成績を挙げました。今年度は「最優秀クラブ」を目指して活動を行い、また、6 月 2 日(土)、3 日(日)に開催される沼津での東日本区大会にはぜひ全員で参加したいものです。(伊藤記)

YMCA 同盟協議会参加報告

—YMCA のマークが変わります！

6月17(土)、18(日)に第6回日本YMCA同盟協議会が御殿場の日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘で開催され、私も日本YMCA同盟常議員・評議員、(少し長い名称ですが)「日本YMCA主事退職金中央基金・日本YMCA職員年金基金委員会委員長」として参加してきました。

この協議会は、全国の都市YMCA、学生YMCAの役員、総主事が出席して開催される年1回の集まりで、日本YMCA同盟の昨年度の活動報告・決算、今年度の計画・予算や重要事項について報告、審議されます。



この場を利用して、日本のYMCAの現勢についてデータを御紹介させていただきます。

東京、横浜、大阪等の「都市YMCA」数：36、地域活動センター数：217、専門学校数：41、チャイルドケア施設数：163、高齢者ケア施設数：70、キャンプ場数：26、東京大学、一橋大学、中央大学等の「学生YMCA」数：37、職員・教員数：6,677名、ボランティア数：8,091名、プログラム会員数：138,882名。(因みに、ワイズメンズクラブは、日本全国で145クラブ、メンバー数は2,463名です。)

さて、今回の協議会では特に、昨年6月に定められた日本のYMCAのブランドコンセプトに基づいて制定された、これまでの「赤三角」に代わる新しいYMCAのロゴおよびキャッチフレーズが発表されました。YMCA外部への発表は10月1日で、それまではYMCA(ワイズを含む)内部での浸透を図っていきます。ブリテンは外部の方々にも触れますので、ここでご紹介はできませんが、7月例会でご披露いたしますのでどうぞお楽しみに。(田中記)

熊本西日本区大会参加報告

6月10日(土)、11(日)に熊本で開催された西日本区大会に参加いたしました。約750名の参加者で、西日本区、特に九州部のみなさんのパワーを実感してきました。



来年6月9日(土)、10日(日)の西日本区大会は、ANAクラウンプラザホテル神戸で開催されます。私たちのチャーターナイトにもご出席いただいた宝塚クラブがホストクラブのひとつです。大勢で参加いたしましょう。

(田中記)

今月のメンバースピーチ

今月のスピーカー:深尾香子さん

『賢活してますか? ~家族の笑顔のために~』



青少年を対象としたボランティアに10年余り関わった事がきっかけとなって、地域との繋がりが出来「家族って、家庭って、親子って何だろう?」と考えるようになりました。その後、我が多摩市では人口の約半分、東京都では1/3が高齢者であることを知り、役所の講座に参加して、活動を始めていたのですが.....この春突

然、両親の介護が始まって生活が一変しました。

そこで、はやり言葉をモジって、私が今回皆さんと共有したいことを、【賢】い親による【活】動。と呼んでみようと思います。親世代が、社会との繋がりを大切にしながら、自分たちに必要なことについて幅広く関心を持ち、健やかに暮らしてくれることは、目の前にいる子どもやその家族だけでなく、街全体にとって、大きな、大きな安心を与えられる立派な社会貢献なのだ。ということ、市と社会福祉協議会が創った社会福祉計画、同活動計画の資料を参考にしつつ、一緒に学びたいと思います。

宝塚クラブのバザーに参加して

帰省中の5月22日、宝塚ワイズメンズクラブのバザーが開催されると、私の東京多摩みなみへの紹介者である石田由美子さんからお話があり、参加してきました。さすが歴史のある宝塚クラブ、メンバー全員が手慣れていて順調に事が運びます。やっと1年の我が多摩みなみクラブが同じことはすぐには出来ませんが、いずれ、地域貢献のために意味ある活動をしたいと思います。ワイズの考え方を理解する仲間を増やすことが今後の課題ではないでしょうか?(真藤記)



東新部部大会のご案内

第21回東新部部大会が以下のとおり開催されます。主宰者である伊藤部長のホストクラブとして、皆さんのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

<日時>10月14日(土) 13:00-17:00

<会場>東京YMCA社会体育・保育専門学校(東陽町)

<プログラム>:式典、バリアフリー競技「ボッチャ」体験、懇親会

<参加費>3,000円

6月例会報告

例会の司会は藤田さん。聖句/お祈りは伊藤さん。久しぶりのゲストスピーチで、スピーカーは東京むかでクラブの櫻井メネットのご友人の堀口博子さん。校庭の一角を農場にし、オーガニック農法で作物を育て、収穫し、その食材を使って料理し、みんなで一緒に食べる「食育」である「エディブルスクールヤード」について、その発祥、歴史、多摩市立愛和小学校での先進的実践状況、課題等についてお話しいただいた。間もなく「農園」を始める私たちにとって大変興味深いお話しでした。



エディブルスクールヤードについて詳しくは、以下のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.edibleschoolyard-japan.org/>

夕食はベルブ永山 3 階のレストランに一旦移動して、作りたての「生シラス丼」。

石田会長から次年度の会長主題についての資料が配られ、また、田中から川越東日本区大会の報告がパワーポイントを用いて行われ、表彰状も披露されました。(田中記)

《出席者》15名:「メンバー」:石田、伊藤、小早川、真藤、滝口、田中、深尾、藤田、綿引、「メネット」:田中、「ビジター」:谷治、櫻井夫妻、「ゲスト」堀口弘子、岩永ひさか

6月役員会報告

6月20日(火)、18:30から、ベルブ永山音楽室にて6月役員会が開催されました。7月例会のプログラム、分担を決定、ワイズ農園について相談したほか、主な決定事項は、以下のとおりです。

・8月例会は、通常どおりの日(1日(火))に開催するが、1時間程で終え、近くの「牛角」(焼肉店)で納涼(スタミナ)懇親会を開催する。実費徴収。家族の参加歓迎。

・広義会員の会費を年額24,000円とする。

・次期東新部部長の伊藤さんにクラブ会計から50,000円を支援する。

・東京YMCA夏祭りには昨年と同様に「冷やしたぬきうどん」を出店する。(田中記)

《出席者》7名:石田、伊藤、小早川、真藤、田中、深尾、藤田

農園での作物栽培を準備しています

既にご案内のとおり、当クラブが初めて取り組むCS活動として「農園での作物栽培」を行うことになりました。懸案であった農園用地は、本田さんのご紹介により町田市野津田町にある農村伝道神学校から50㎡の土地をお借りすることができました。(場所は野津田公園の隣接地です)また作物栽培のノウハウは藤田さんに指導していただきます。

神学校のご担当である沼田先生からは7月上旬に農地を耕耘し、作業可能な状態にさせていただけると伺っています。クラブにおいては農作業開始前の準備として作付作物の選定や農機具の準備、またクラブメンバーの作業分担等を決定したいと思います。そして収穫時には東京YMCA西東京センターの子供たちやシオン幼稚園の園児と一緒に収穫の喜びを分かち合うことも考えています。ぜひクラブメンバーの皆様のご協力をお願いします。



写真は6月19日現在の農園予定地の状況です。草刈りが済み、枯草を焼いて耕耘の準備が整いつつあります。(綿引記)

これからの予定

- ・7/12(水):東新部役員会(南センター)
- ・7/15(土):東新部評議会(山手センター)
- ・7/18(火):7月役員会(ベルブ永山4階創作室)
- ・7/21(金)-23(日):アジア太平洋地域大会(チェンマイ)
- ・8/1(火):8月納涼例会(ベルブ永山4階学習室)
- ・8/15(火):8月役員会(ベルブ永山4階学習室)
- ・8/26(土):東京YMCA夏祭り(東陽町センター)

＜お願い＞

- 新年度のクラブ会費をお支払いください。1年分48,000円または半年分24,000円です。7月例会に持参いただくか、下記口座にお振込みください。
- YMCAの会員になられていない方はよろしくお手続きください。

連絡先: 〒192-0023 八王子市久保山町1-9-3-807 田中博之 (携帯) 090-9823-6387

例会日: 本例会 第1火曜日 18:30~20:30 会場: ベルブ永山 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

役員会(第2例会) 第3火曜日 18:30~20:30 会場: ベルブ永山

会費送金口座: 多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ会計 深尾香子